

**日本福祉大学社会福祉総合研修センター主催**  
**平成30年度 第2回 介護職員等によるたんの吸引等研修事業**  
**(第2号研修・「不特定多数の者対象」) 受講者募集要綱**

日本福祉大学では、平成24年4月1日改正「社会福祉士及び介護福祉士法」にもとづき、特別養護老人ホームその他において、必要なケアをより安全に提供するため、適切にたん吸引等を行うことができる介護職員等を養成することを目的とした研修事業を以下の要領で開催します。受講ご希望の方は以下の要綱および別紙「業務規程」をよくお読みの上、所定の期間内にお申込みください。

記

1 主催（研修機関）

日本福祉大学社会福祉総合研修センター

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35(日本福祉大学名古屋キャンパス内)

2 研修内容

**第2号研修（不特定多数の者を対象とし、実施できる特定行為の範囲が ①口腔内喀痰吸引 ②鼻腔内喀痰吸引 ③気管カニューレ内部喀痰吸引 ④経鼻経管栄養 ⑤胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 の5行為**

※カリキュラムは大きく分けて以下の2つから成ります。

1) 基本研修（本学内で、講義・筆記試験・シミュレータ演習をおこなう）

2) 実地研修（各自 自施設もしくは他施設で、指導看護師と利用者の協力のもとで、演習をおこなう）

3 研修日程・会場

別紙1のとおり

4 定員

40名

5 受講料

基本研修、実地研修、免除科目の状況によって受講料は異なります。なお、いずれの場合も保険料・消費税込。テキスト代2,160円(税込)は含まれません。

受講タイプ	受講研修の組み合わせなど	受講料
基本研修＋実地研修の方	A 基本研修＋ <u>自身で手配した実地研修先</u> で実地研修をおこなう方	85,000円
	B 基本研修＋ <u>本学仲介の実地研修先</u> で実地研修をおこなう方	110,000円＋20,000円×実地研修科目（行為）数
実地研修のみの方	C 基本研修は本学主催か本学以外かを問わず、いずれかの研修機関で修了済みで、 <u>実地研修(注1※)のみ自身で手配した実地研修先</u> でおこなう方 注1※ 実地研修科目（行為）数に関係なく一律の費用となります。	20,000円
	D 基本研修は <u>本学主催研修</u> で修了済みで、 <u>実地研修(注1※)のみ本学仲介の実地研修先</u> でおこなう方 注1※ 実地研修科目（行為）は1科目（行為）につき20,000円	45,000円＋20,000円×実地研修科目（行為）数
	E 基本研修は <u>本学以外の研修機関</u> で修了済みで、 <u>実地研修(注1※)のみ本学仲介の実地研修先</u> でおこなう方（注2※） 注1※ 実地研修科目（行為）は1科目（行為）につき30,000円 注2※ 実地研修前に別途手技確認をさせていただきます。	55,000円＋30,000円×実地研修科目（行為）数

注1※ 実地研修科目（行為）は、以下の5行為となります。

口腔内吸引、鼻腔内吸引、気管カニューレ内部吸引、経鼻経管栄養、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養

注2※ 手技確認は、実地研修科目（行為）のみ実施します。

## 6 受講資格

以下①、②のいずれかの要件を満たす方に限ります。

- ①特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者（児）施設等、居宅サービス事業所等に勤務の介護職員等（介護福祉士を含む）の方で、たん吸引等を必要とする利用者がある等、業務上本講習受講が必要で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方。
- ②介護福祉士で、所定のカリキュラムをすべて受講できる方。

## 7 申込方法

本学の「業務規程」（申込書のファイルに掲載）を熟読・ご理解のうえ、以下の書類を揃えて、所定の応募期間内に郵送してください。

- ①たん吸引等研修 受講申込書
- ②研修申込にかかわる喀痰吸引等研修受講上の重要事項チェック・誓約書
- ③（申込者が注意事項Ⅱ「研修の一部履修免除」に該当する場合のみ）修了証明書もしくは一部履修証明書の写し
- ④（介護福祉士の資格のみで受講する場合のみ）資格証明書の写し

## 8 応募書類受付期間

平成 30 年 5 月 7 日(月)～平成 30 年 5 月 25 日(金) 必着 ※先着順受付ではありません。

## 9 受講決定

応募書類確認の上、受講決定者には平成 30 年 5 月 28 日(月)～平成 30 年 5 月 30 日(水)の期間内に、「受講可否の通知」（可の方には受講料振り込みのご案内含む）をファックス（ファックスのない方は封書）で連絡します。受講料入金をもって受講正式決定とし、開講のご案内書を郵送します。

### 応募書類郵送先・お問い合わせ先

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

日本福祉大学社会福祉総合研修センター（担当 井上・足立・田口）

電話 052-242-3069 / ファックス 052-242-3020

E-mail ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

お問い合わせ時間：平日 9時30分～16時30分

## 注 意 事 項

- I 本研修は先着順受付ではありません。各申込書類を確認し、研修受講に適格と認められた方のみ受講可といたします。
- II 以下①～⑤の方は、研修の**一部履修免除対象**となりますので、  
①～③の方は「修了証明書」「履修証明書」の写しを、  
④の方は、「喀痰吸引等研修一部履修証明書」の写しを申込時に必ず提出してください。  
⑤の方は、「成績証明書」ならびに科目シラバスを添えて申込時に必ず提出してください。
- ①「特別養護老人ホームにおけるたんの吸引等の取扱いについて」（平成 22 年 4 月 1 日医政発 0401 第 17 号厚生労働省医政局長通知）に基づくたんの吸引等を適切に行うために必要な知識及び技術に関する研修を修了した方。（いわゆる「経過措置」の方）
- ②平成 22 年度に厚生労働省から委託を受けて実施された「介護職員によるたんの吸引等の試行事業（不特定多数の者対象）」の研修（平成 22 年度老人保健健康増進等事業「介護職員によるたんの吸引等の試行事業の研修のあり方に関する調査研究事業」）を修了した方。
- ③「平成 23 年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業の実施について」（平成 23 年度 10 月 6 日老発 1006 第 1 号厚生労働省老健局長通知）に基づく研修を修了した方。
- ④平成 24 年度以降に「たん吸引等研修 第 1 号・第 2 号研修（不特定多数の者対象）」を受講するも、やむを得ず途中修了となり、「一部履修証明書」をお持ちの方。
- ⑤介護福祉士養成機関で「医療的ケア」の講義・演習を履修した者
- \*第 3 号研修（特定の者対象）修了者には免除はありませんので、ご注意ください。
- III 定員設定にかかわらず、実地研修の受け入れ条件等やあるいは研修受講の優先性・必要性等について勘案の上、受講決定をさせていただきますので、予めご了承ください。
- IV 受講可否通知は 5 月 28 日（月）～30 日（水）の間に、順次申込者全員に発送（もしくは投函）しますので、それ以前のお電話等による可否のお問い合わせは御遠慮ください。万一通知が届かない場合は 5 月 30 日（水）以降、本学までご連絡下さい。
- V 自身で実地研修先を確保される場合でも、「本学主催の研修において、実地研修を依頼する」という位置づけから、本学とその実地研修先の間で、委託契約締結させていただきますので予めご承知おきください。（別添「**介護職員等の喀痰吸引等研修にかかわる実習委託契約書**」参照）
- VI 本研修修了者には本学より「喀痰吸引等修了証明書」をお渡ししますが、本証明書の送付については、実地研修実施報告書の提出から 1 ヶ月程度時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。
- VII 本研修修了者が、実際にたん吸引の行為をおこなうためには、修了証明書受領後、各自、住民票のある県に「認定特定行為業務従事者認定証」の交付を申請する必要があります。また、その場合は事業者も別途県に「登録特定行為事業者」としての登録申請が必要ですのでご承知置きください。

## 別紙1

平成30年度 第2回 日本福祉大学社会福祉総合研修センター主催 たん吸引等研修

## 研修日程表

(講義・演習は日本福祉大学名古屋キャンパス南館)

## 1. 基本研修

## 1) 講義(計50時間+筆記試験)

日程	時間	科目	時間数
第一日目 6月20日(水)	9時30分～45分	<b>開講オリエンテーション</b>	
	9時45分～13時15分	<b>1 人間と社会</b>	
		①介護職員と医療的ケア	0.5
		②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1
		<b>2 保健医療制度とチーム医療</b>	
		①保健医療に関する制度	1
	14時～18時	②医療的行為に関係する法律	0.5
		③チーム医療と介護職員との連携	0.5
		<b>3 安全な療養生活</b>	
		①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2
		②救急蘇生法	2
	計		7.5

日程	時間	科目	時間数
第二日目 7月4日(水)	9時30分～13時	<b>4 清潔保持と感染予防</b>	
		①感染予防	0.5
		②職員の感染予防	0.5
		③療養環境の清潔、消毒法	0.5
		④滅菌と消毒	1
	14時～16時	<b>5 健康状態の把握</b>	
		①身体・精神の健康	1
		②健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
		③急変状態について	0.5
	計		5.5

日程	時間	科目	時間数
第三日目 7月18日(水)	9時30分～17時30分 (1時間昼休憩)	<b>6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論</b>	
		①呼吸のしくみとはたらき	1.5
		②いつもと違う呼吸状態	1
		③喀痰吸引とは	1
		④人工呼吸器と吸引	2
		⑤子どもの吸引について	1
	⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5	
	計		7

日程	時間	科目	時間数
第四日目 8月1日(水)	9時30分～18時30分 (1時間昼休憩)	⑦呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1
		⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1
		⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	2
		<b>7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説</b>	
		①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
		②吸引の技術と留意点	3
		計	

日程	時間	科目	時間数
第五日目 8月22日(水)	9時30分～17時 (1時間昼休憩)	③吸引の技術と留意点	2
		④喀痰吸引にともなうケア	1
		⑤報告および記録	1
		<b>8 高齢者および障害児・者の経管栄養概論</b>	
		①消化器系のしくみとはたらき	1.5
	②消化・吸収とよくある消化器の症状	1	
	計		6.5

日程	時間	科目	時間数
第六日目 9月5日(水)	9時30分～18時 (1時間昼休憩)	③経管栄養とは	1
		④注入する内容に関する知識	1
		⑤経管栄養実施上の留意点	1
		⑥子どもの経管栄養について	1
		⑦経管栄養に関する感染と予防	1
		⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
		⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1
		⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1
		計	7.5

日程	時間	科目	時間数
第七日目 9月19日(水)	9時30分～18時30分 (1時間昼休憩)	9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説	
		①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1
		②経管栄養の技術と留意点	5
		③経管栄養に必要なケア	1
		④報告および記録	1
計	8		

日程	時間	科目	時間数
第八日目 10月3日(水)	10時～11時	筆記試験	1
	12時～12時30分 (予定)	結果発表	0.5
	12時30分～13時 (予定)	実地研修オリエンテーション	0.5
	13時15分～15時15分 (予定)	救急蘇生(演習)	2

※10月4日(木)

(予備日・筆記試験追試日)

## 2. シミュレータ演習

日程	時間	演習
10月17日(水)	各日9時30分～修了まで	たん吸引
10月18日(木)		たん吸引
10月31日(水)	各日9時30分～修了まで	経管栄養
11月1日(木)		経管栄養

演習予備日:11月2日(金)

## 3. 実地研修(各自所定の施設にて演習)

平成30年11月2日(金)～平成31年2月28日(木)

## 4. 修了日 平成31年2月28日(木)